

まちづくり運動」3年間の活動報告

平成30年3月18日(日) 14時～17時
 於：御影大手会館



〈参加者の声〉

地域の意識の高さは、3年間の活動実践があったからだと思う。認知症への認識も変わってきたのではないかと今後も続けて欲しい

年間行事を共に行っており、認知症に関しても何が一緒にできることがあれば高齢者宅へのポスティングを青年会でやっている。老若男女一緒に活動することが多く、だんじり・ハロウィーン・餅つき大会も一緒にしている。それも認知症予防に繋がっているかなと思っている。



サポーターシールあふれるまちに、近づきつつあると思っている。青年会の参加もH29年度から始まった。



推進委員会は自治会・老人会・青年会といった既に存在する会が必要を感じ、取り組んでくれた。今までのつながりがあってのことだ。



自治会が中心となり、老人会・壮年会・青年会・婦人会・子供会とすべての世代に集まりがある。途切れないようにと町づくりをしてきた。居場所は多く、見かけないときの周囲の声掛けもある。皆さんの協力によって成り立っている。



中御影にも老人会をと、H28年4月に中御影笑和会を56名で発足しました。地域を超えて居場所や集まりに参加し、安心できるつながりを深めようと互いに誘い合い、会員数は70名にまで増えました。



居場所の継続が一番であり、今後のことも考えつつ活動していきたい。



あなすこととして何かを行おうとしても、なかなか参加につながらないのに、御影中部地域あげての活動が素晴らしい。本人が認知症だと心をひらいて話す人が身近にいないものだが、御影ではこれが可能な地域になっている。元気な時から地域に出て自分の存在をアピールしておく必要もある。このような活動があればつながりもできやすい。



他地域からの移住者にも、分け隔てなく声を掛けてくれて参加しやすかった。



オーラルフレイルの要因の一つは社会性の欠如だが、アンケートにある地域での集まり居場所などの人とのつながりが、この地域では既に出来上がっている。2025年問題と言われるが、ここは良い地域になっている。



御影公会堂のリニューアルがきっかけで友人たちと「ここでバンドの演奏会をしよう、御影音楽祭ってどうだろう」それならばと、実行委員会を立ち上げることになった。小さな思い付きが大きなイベントに盛り上がった。この成功も日頃の地域の繋がりがあったからだ。"音楽は認知症予防にとてもいい。脳の為に歌おう!" イギリスでは歌で認知症を予防する活動を行っている、御影音楽祭への参加を目標に、リコーダー教室を居場所として増やすことも考えたい。